



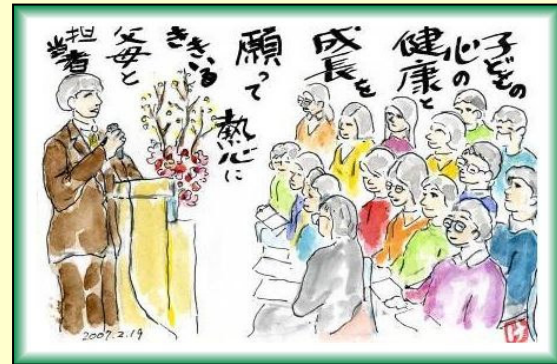
安川雅史先生講演会「いじめ 不登校・ひきこもり子どもの具体的な対処法」

昨年に引続き 2 回目の講演会を 2 月 12 日(月曜日振替休日)にサニープレイス座間多目的ホールで開催しました。



厳しい日程の中、都合をつけての休日開催は現職の教師や父母の参加期待がありました。広い会場に 40 名弱の参加数は「もったいないなあ」と思いました。遠く伊勢原市や海老名市から熱心な方々の参加もあり、講演後の質問や終了後の別室での個人相談に皆切実な話で、開催した意義の大きさを強く感じました。

今年度は、特に神奈川県は全国でもトップでフリースクール・フリースペース等連携協議会が発足して、大和会場・相模原会場にブースとして参加しましたし、座間市の適応指導教室「つばさ」との「手打ちうどん作り」体験交流が実現出来たので、現場の教師の参加がもっとあったらなあ……と。いただいたアンケートを活かし、今後もあすなろの地道な活動をしながらいじめ・市との連携推進事業を進めて行きたいです。



今年度は、特に神奈川県は全国でもトップでフリースクール・フリースペース等連携協議会が発足して、大和会場・相模原会場にブースとして参加しましたし、座間市の適応指導教室「つばさ」との「手打ちうどん作り」体験交流が実現出来たので、現場の教師の参加がもっとあったらなあ……と。いただいたアンケートを活かし、今後もあすなろの地道な活動をしながらいじめ・市との連携推進事業を進めて行きたいです。

講演会のアンケートより

- ☑ 3 時間があっという間でした。具体的な話で非常に分かりやすかったです。次回は不登校児に関して聴講したいと思います。
- ☑ 心が動かされたとき、人は変わる。良いことを聞きました。肝心なことを息子としゃべらないで、10 年間過ぎました。楽にしゃべれる様になれそうです。ありがとうございました。
- ☑ 大変今の自分に為になりました。スクールカウンセラーや、担任と相談していますが、全然解決しません。
- ☑ 何か結論を急ぐ傾向がありました面で、粘り強くやっていくことの重要性を痛感しました。
- ☑ 現在社会問題としての課題に合ったテーマで講演会が開けたのは、麒麟福祉財団の助成金があったからでした。

ボランティアのつどい 18 年度座間市ボランティア連絡協議会(ボラ連)に参加(2007-2-4)

不登校ひきこもり居場所「あすなろ」は、今年度参加した 4 団体と活動報告を行いました。

ボラ連での担当を務める竹内康代さんからあすなろの活動内容の報告がありました。あすなろの家の様子・子ども達の活動・親との話等適切な紹介でした。資料も配布しましたが、集いには、各サークルから参加されている方が多く、不登校ひきこもり児童生徒と直接関係ない方々なのが残念でした。

あすなろの存在を少しでも多くの方に知っていただき、ボラ連との交流を深めながら活動を発展させて行きたいものです。



「全国不登校フォーラム神奈川大会」に参加して

各都府県の教育委員会、学校関係者、NPO関係者と共に、不登校児童生徒への支援を目的とした神奈川県における学校とフリースクール等との連携について考えるという趣旨で、1 月 24 日(木)13:30～ 神奈川県民ホールで全国神奈川大会 がありました。

沖縄大学の加藤彰彦先生の講演では子どもの数が減少している現在、益々「子どもの存在は希望」ということばに重みを感じました。更に、不登校になる子どもの背景に自分の存在を肯定しない、認めてくれない学校、家庭の関係の中で自分らしく生きたいという無意識の抵抗の表れという言葉にも再認識しました。

事例発表として県教育委員会の阿久沢栄さんから「なぜ フリースクールと連携するのか」……

NPO法人の和田重弘さんは、「フリースクールの多様性」について話されました。

その後代表4名の方から「NPO等と協働による不登校支援」というテーマでシンポジウムが行われました。全体を通して教育委員会や学校側がフリースクールのことを知ろうとする姿勢を感じ、不登校支援の前進が見られて良かったと思いました。(参加 田中 村松記)